

久間がゆく

No.7

株式会社 中村プレス

高い溶接技術とプレス加工で 自動車産業の一角担う



【写真左】手前にあるロール巻の薄い金属板を奥の大型プレス機械で加工【写真中上】従業員が部品を溶接【写真中下】自動車のマフラーに取り付ける部品【写真右上】細い部品を丁寧に加工する従業員【写真右下】本社工場と工場

皆さん、こんにちは。企業支援相談員の久間です。今回紹介する企業は、株式会社中村プレスです。

この会社は、有明町に工場を構え、主に自動車関連部品のプレス加工や溶接、組み立てなどを行っています。

大手自動車メーカーの工場が多く立地している北部九州は、国内の自動車生産の一大拠点。この会社は、その一角を担う企業なのです。

中村修社長は「わが社で作っているのは、主に自動車のボディやマフラーに使われる部

【事業者情報】

- 本社所在地 = 有明町 1037・2 ☎ 72・1667
- 資本金 = 1000 万円
- 代表者 = 中村修
- 従業員 = 40 人

品や、スピードメーターなどが付けられているインパネの部品など。種類は約300点もあり、毎日組み立て済みのセット部品を含めて約12万個もの部品を自動車関連工場へ出荷しています」と話します。

農機具の部品加工をする会社として、先代の中村社長の父が昭和63年に創業。17年ほど前に、大手自動車メーカーが県内に進出したことから、先代が自動車関連部品を製造する決断をしたそうです。「自動車メーカーからは、部品の品質やコスト、納期を守ることが強く求められます。そのノウハウを学ぶため、私が半年間修行に行ってきたんです」と、中村社長は当時を振り返ります。

最近の自動車には、薄くて強度のある材料が多く使われていますが、その分加工や溶接などが難しく高い技術が必要です。中村社長は「わが社はさまざまな溶接が得意。熟練した技術があるので、加工が難しい部品の溶接にも対応できます」と胸を張ります。

今後について中村社長は「これまで培った生産工程や品質管理などのノウハウを生かして新しい分野にも進出し、目標は自社製品を作れるようになること。現在手掛けている医療や介護分野の製品を充実させながら、原点回帰で農機具の製造ももう一度やってみたいと思っています」と意気込みを語りました。

久間のひとこと

北部九州の自動車の一大生産拠点の一角を担う企業が市内にもあることを実感しました。また、地域の皆さんに愛され支持される会社を実現するという社是からは、地元を大切にしたい、貢献したいという社長の強い思いを感じました。

【問】市商工振興課企業誘致・ベンチャー支援係 ☎ 77・8762